

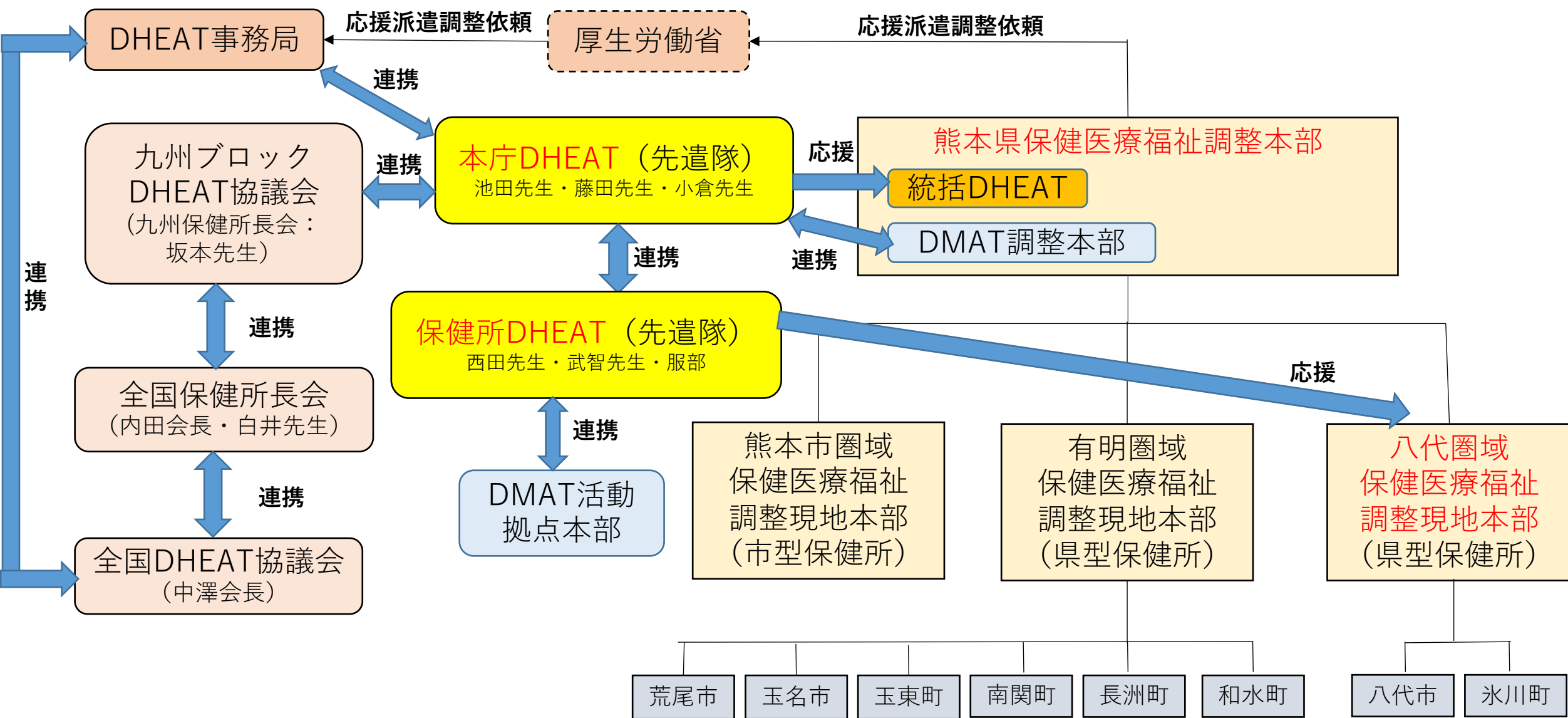
# 令和4年度九州・沖縄ブロックDMAT実働訓練（DHEAT編）（資料2）

- 目的 九州・沖縄ブロックDMAT実働訓練と連携し、九州ブロック内外から複数のDHEATが先遣隊として保健医療福祉調整本部および被災保健所（現地本部）へ出動する訓練を実施することで、D24H及びDHEAT活動の機能強化に必要な下記課題の検討を行い、実災害におけるD24Hの活用の推進、今後の全国的なDHEAT連携体制の構築を図る。
- 日時 令和5年1月28日（土）9時～17時  
1月29日（日）9時～12時（検証会）
- 場所 熊本県庁、八代保健所
- 検討内容 ①D24Hの機能を用いた、支援チーム間の情報共有  
②DHEAT派遣調整システムの運用  
③保健医療福祉調整本部・現地本部におけるDHEAT活動内容  
④保健医療福祉調整本部DHEATと現地本部DHEATの連携方法  
⑤地方ブロックDHEAT協議会・全国DHEAT協議会・DHEAT事務局との連携方法  
⑥保健医療福祉調整本部及び現地本部と連携したDHEAT追加派遣要請  
⑦DMAT調整本部・DMAT活動拠点本部とDHEAT間の連携方法

# 令和4年度九州・沖縄ブロックDMAT実働訓練（DHEAT編）参加者一覧

|          | 所属                                 | 氏名     |
|----------|------------------------------------|--------|
| D24H事務局  | 芝浦工業大学システム理工学部 環境システム<br>学科准教授     | 市川 学   |
| DHEAT事務局 | 日本公衆衛生協会 健康危機管理教育専門職<br>(DHEAT事務局) | 高岡 誠子  |
| 保健所本部    | 熊本県八代保健所（兼）宇城保健所 所長                | 木脇 弘二  |
| DHEAT    | 富山県厚生部 参事                          | 小倉 憲一  |
|          | 群馬県利根沼田 兼 吾妻保健福祉事務所<br>医監（保健所長）    | 武智 浩之  |
|          | 長崎県県央保健所 所長                        | 藤田 利枝  |
|          | 宮崎県高鍋保健所 所長                        | 西田 敏秀  |
|          | 和歌山県湯浅保健所 所長                       | 池田 和功  |
|          | 熊本県人吉保健所 所長                        | 服部 希世子 |
| DMAT     | DMAT事務局                            | 千島 佳也子 |

# 九州・沖縄ブロックDMAT実働訓練（DHEAT編）訓練組織図

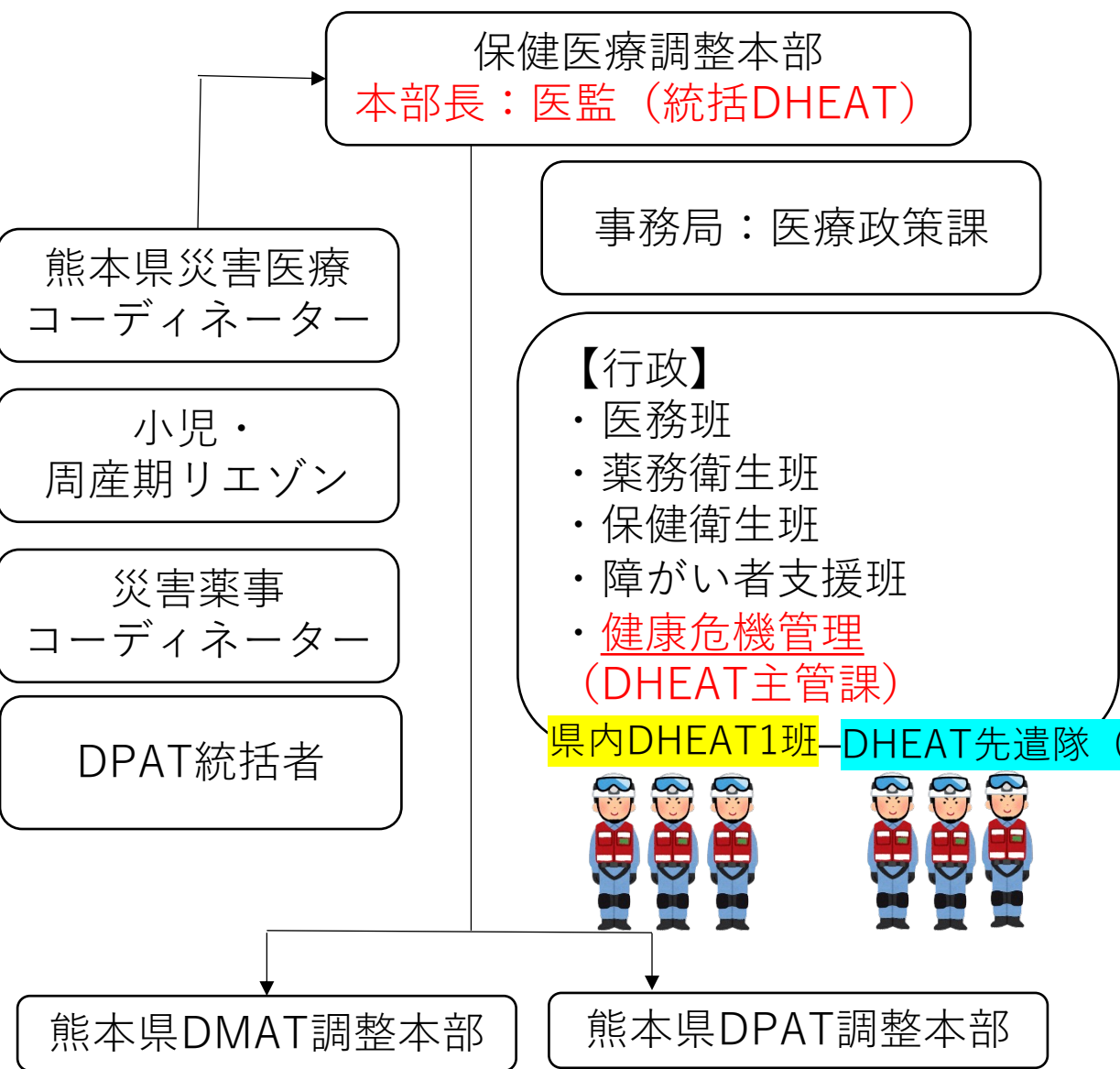


# 今回のDHEAT応援派遣の流れ（想定）

1月28日（土）

- 4時発災：日奈久・布田川断層帯によるM7の地震発生。震度7 熊本市、八代市等
- 6時ごろ、県内各保健所（計10カ所）より、くものいと入力第一報。
- 7時 県保健医療調整本部がくものいと第一報を確認し、県内DHEAT 1チームの応援派遣を決定。同時に、地方ブロックDHEAT協議会がDHEAT先遣隊 1チームの派遣を決定。
- 9時 県内DHEAT 1チーム、DHEAT先遣隊 1チームが保健医療調整本部に到着。→訓練スタート

# 熊本県保健医療調整本部組織図 (今回)



## 県庁におけるDHEAT活動：CSCAの確立

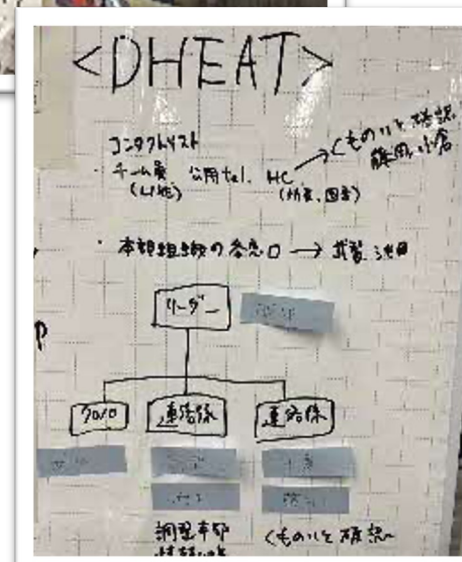
- ・県内DHEAT
- ・DHEAT先遣隊



統括DHEAT

DHEAT主管課

県内DHEAT・DHEAT先遣隊(九州ブロック)本部長（統括DHEAT）とDHEAT主管課に参集報告



# 県庁におけるDHEAT活動：CSCAの確立

◆保健所現状報告システム (くものいと) 各保健所が入力

| アクセスメント実施日          | 施設名       | 入力者 | 国庫の恐れ | 庁舎の使用 | 現地本部設置 | リリーク指名 | 連絡窓口指定 | 必ず要する器具指定 | 要する物資指定 | 要する人員数 | 要する不足 | 自由記号 |
|---------------------|-----------|-----|-------|-------|--------|--------|--------|-----------|---------|--------|-------|------|
| 2023-01-28 07:32:00 | 熊本県 熊本保健所 | ※   | D     | A     | A      | ※      | ※      | ※         | ※       | 1      | A     | ※    |
| 2023-01-28 08:52:00 | 熊本県 八代保健所 | ※   | D     | A     | A      | ※      | ※      | ※         | 7       | 5      | A     | ※    |
| 2023-01-28 07:23:00 | 熊本県 人吉保健所 | ※   | D     | A     | A      | ※      | ※      | ※         | A       | 12     | D     | 下    |
| 2023-01-28 07:36:00 | 熊本県 水俣保健所 | ※   | D     | A     | A      | ※      | ※      | ※         | ※       | ※      | ※     | ※    |
| 2023-01-28 07:07:00 | 熊本県 有明保健所 | ※   | D     | A     | A      | ※      | ※      | ※         | ※       | ※      | ※     | ※    |
| 2023-01-28 07:08:00 | 熊本県 山鹿保健所 | ※   | D     | A     | A      | ※      | ※      | ※         | A       | 8      | D     | ※    |
| 2023-01-28 07:10:00 | 熊本県 菊池保健所 | ※   | D     | A     | A      | ※      | ※      | ※         | A       | 9      | D     | ※    |
| 2023-01-28 07:38:00 | 熊本県 宇城保健所 | ※   | ?     | A     | D      | ※      | ※      | ※         | ?       | 1      | ?     | ※    |
| 2023-01-28 07:39:00 | 熊本県 阿蘇保健所 | ※   | D     | A     | A      | ※      | ※      | ※         | D       | 3      | D     | ※    |
| 2023-01-28 09:00:00 | 熊本県 天草保健所 | ※   | D     | A     | A      | ※      | ※      | ※         | A       | 8      | A     | ※    |

◆保健所現状報告システム (くものいと) 各保健所が入力

## ◆くものいとを用いた県内保健所の情報収集

### ◆分析 (11時時点)

- ・9/10が入力。うち、4 HCが応援要請
- ・**支援が必要な保健所 (5 HC)**  
八代・宇城・水俣・御船・天草

### ◆方針

- ・情報がない御船保健所の調査
- ・被災保健所へのDHEAT派遣  
県内の被災がない保健所からの人員派遣を優先 (初動3日間)

→ **八代HCに県内DHEAT 1チーム**

県外応援要請(国へ要請)

- ・**各保健所7日間、12チーム要請**
- ・指定支援検討

天草には、空路派遣可能な県長崎が候補

★方針の最終決定は、統括DHEATでもある本部長が決定(DHEATから報告)

◆本部より**保健師派遣の検討**指示  
75チームを国へ要請

熊本県庁DHEATクロノログ.xlsx

ONLYOFFICE < ファイル ホーム 挿入 レイアウト 数値 データ ドットアップル

Calibri 11

D28 県内DHEATの配置

| B  | C           | D   |
|----|-------------|---|
| 22 |             | DHEAT追加要請 水俣、天草、宇城  |
| 23 |             | 熊本市支援必要?  |
| 24 |             | 八代HCに県内DHEAT派遣  |
| 25 | 薬剤師会 (県庁県庁) | 避難所の状況 (現在調査中)  |
| 26 | 市保健所リエント県庁  | DHEAT不要 (EMIS使用:市民病院からの物資、薬品援助)   |
| 27 | 保健衛生班 (統県庁) | 八代保健所から保健師の派遣要請   |
|    |             | 県内DHEATの配置  |
|    |             | 水俣←菊池   |
|    |             | 天草←一号橋通行不可のため、陸路以外で県外DHEAT要請必要  |
|    |             | 宇城←有明   |
|    |             | 熊本市は対応不要  |
|    |             | 準備ができ次第出発   |
| 28 |             | 八代市の保健師から、指定避難所に病院の入院患者が多数避難しているというメールによる情報提供がありました。  |
|    |             | 八代五中です。精神科医療機関である高田病院に隣接して、保健師が常駐する災害時対応センターが設置されています。このセンターにDHEATが到着すると、被災病院へ情報収集に出しますので、そこでもわかるかもしれません。 |

◆D24Hシステム内の電子クロノログスプレッドシート



# 八代保健所におけるDHEAT活動（DMAT活動拠点本部リエゾン）

- ◆八代保健所到着後、保健所からオリエンテーションの実施。
- ◆八代保健所からDHEATへの活動指示  
→**熊本労災病院（DMAT活動拠点本部）の状況確認**、DHEATリエゾン派遣。  
高田病院の病院避難の状況の確認。



# 八代保健所におけるDHEAT活動（DMAT活動拠点本部リエゾン）

- ◆熊本労災病院到着時、DMAT活動拠点本部では全体ミーティング実施中。  
その後、**本部長補佐の統括DMATへ情報収集。**
- 役割分担の提案：**保健所における福祉施設、避難所の情報収集・分析、情報共有。**
- 医療支援度の高い在宅療養者の情報共有。**
- ◆八代保健所へ持ち帰り、所長等と対応検討。
- ◆15時30分～、八代地域保健医療福祉調整会議に参加。

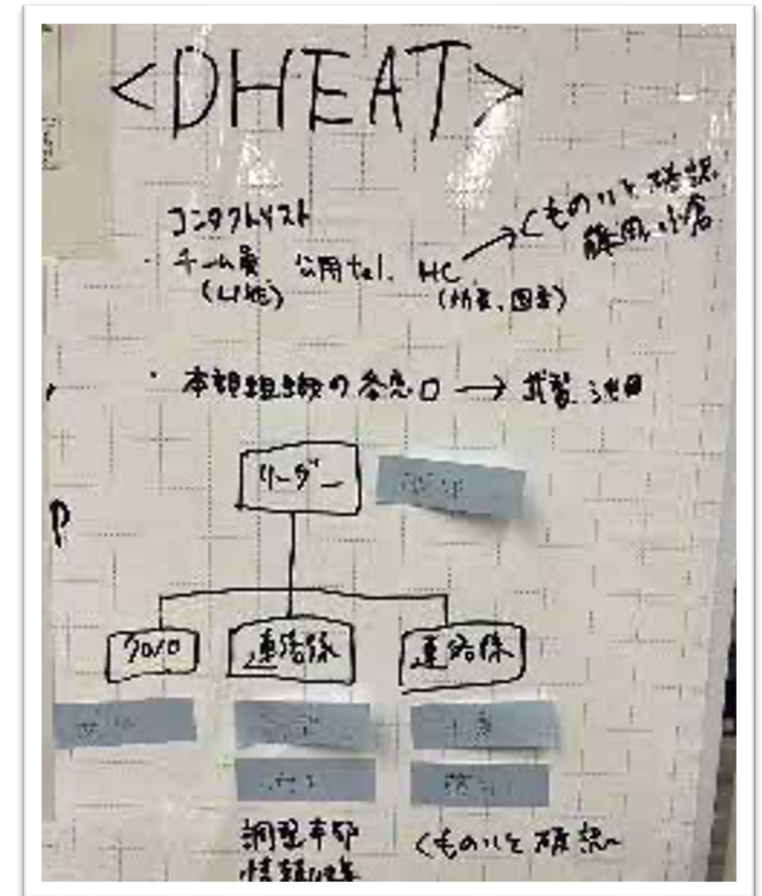
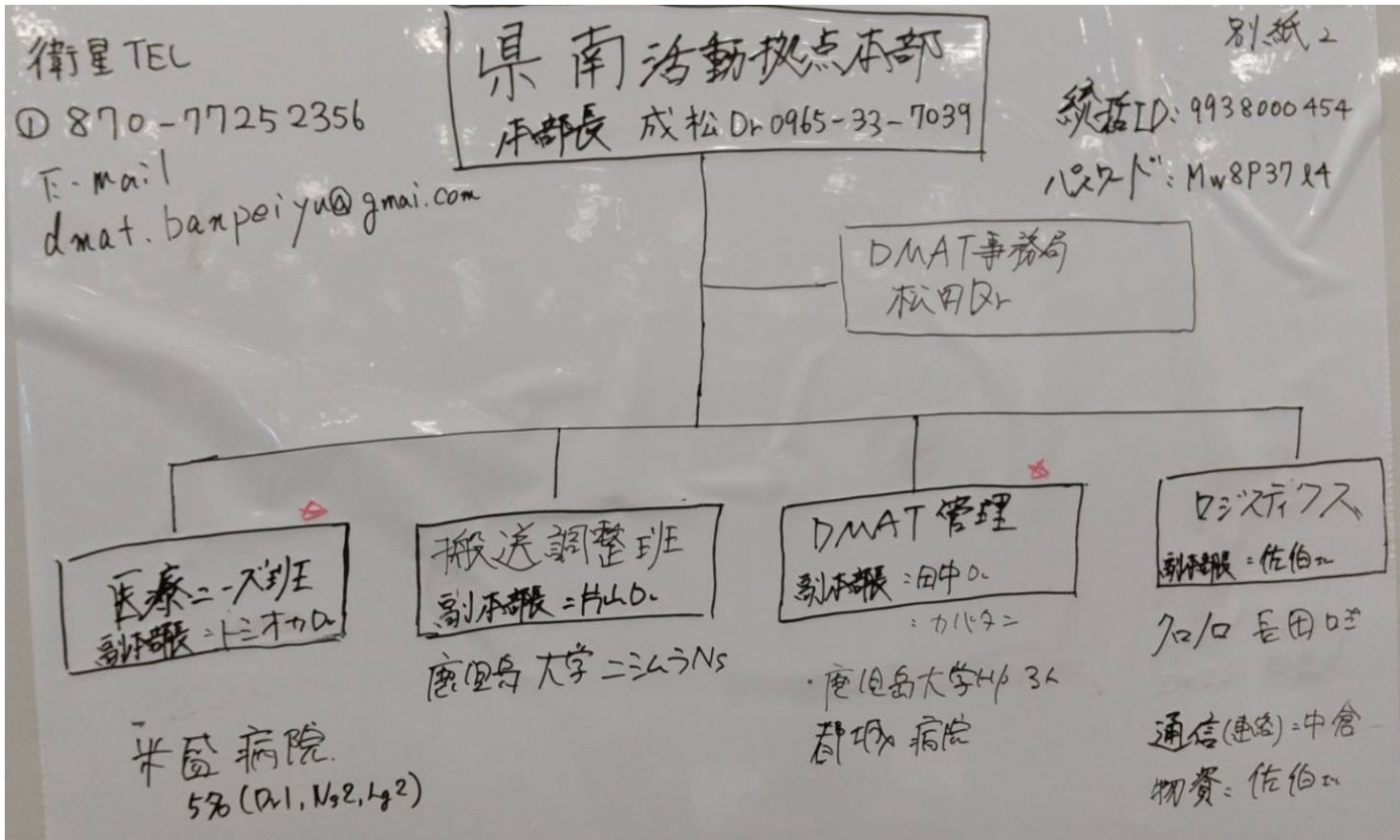




# 課題：指揮命令系統の確立（DHEAT活動体制の確立）

- ◆DHEAT活動体制の確立は、訓練開始1時間後と遅かった。
- ◆保健医療調整本部の組織体制の確認は？
- ◆コンタクトリストは？

➡ HeLP-SCREAMに沿った活動の開始

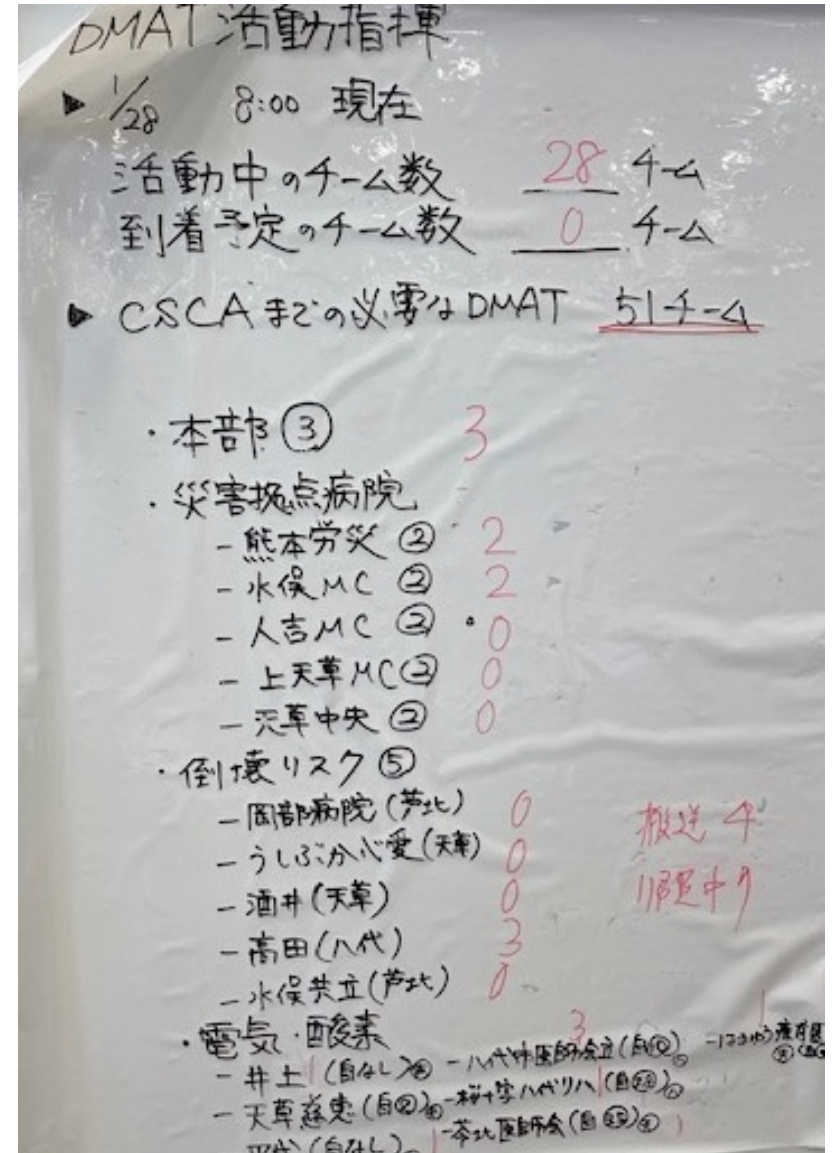
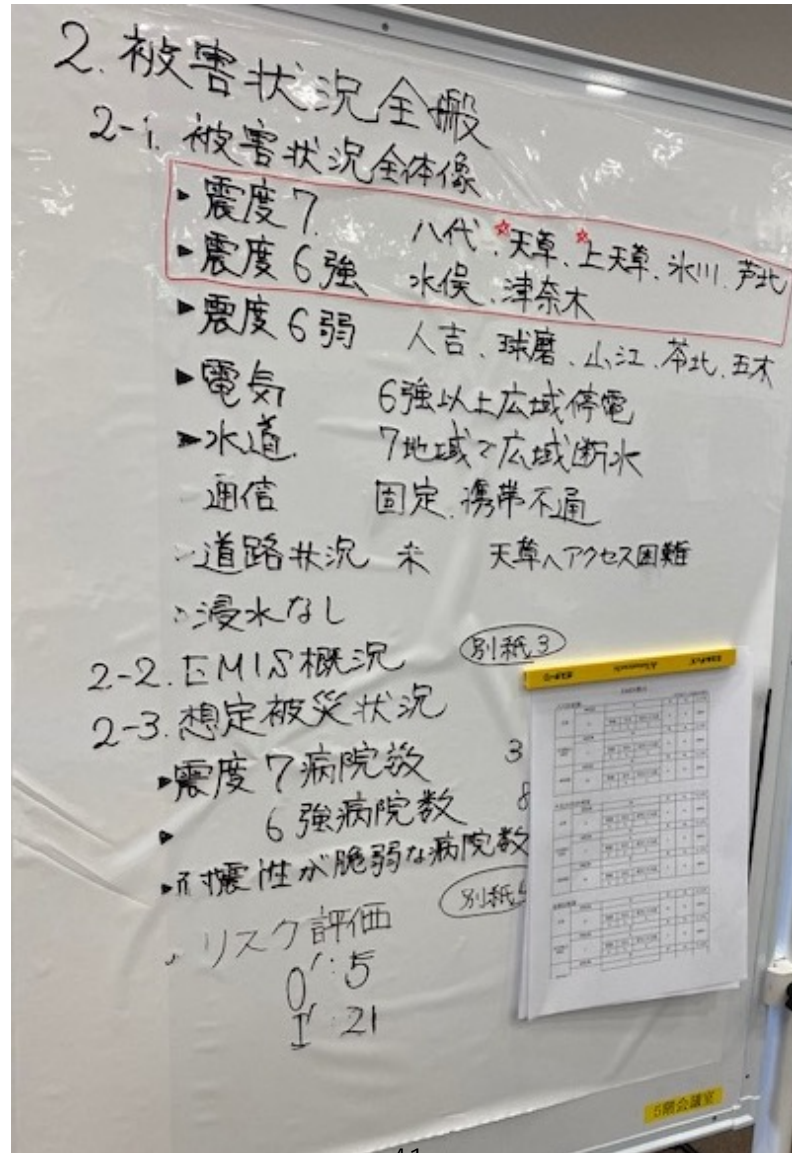
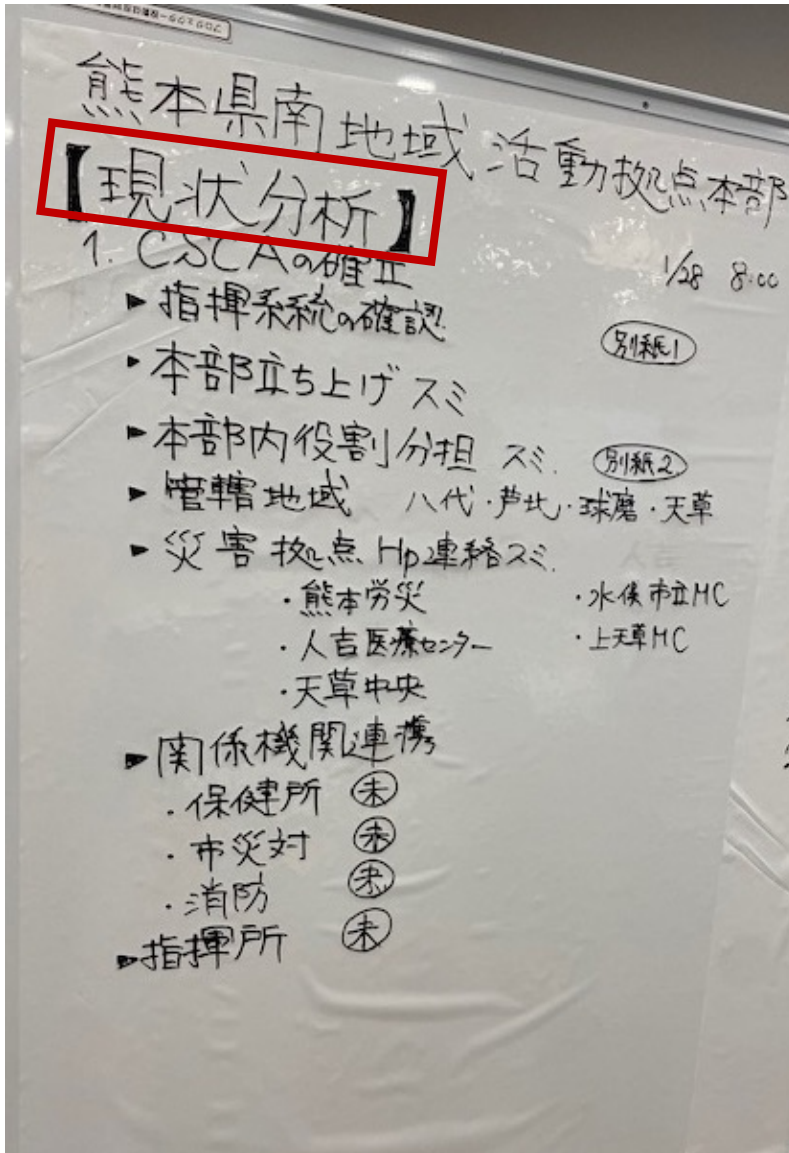


# 課題：DHEAT活動環境の整備（情報通信機器）

- ◆パソコン、プリンター、ネット環境の整備に時間がかかった。
- ◆情報通信機器がないと、活動出来ない。



# 課題：情報収集・管理、現状分析、活動方針（CSCAの確立）



# 課題：情報収集・管理、現状分析、活動方針（CSCAの確立）

## 活動方針

- CSCA  
県保健医療調整本部と県DMAT調整本部の連携  
・小川Dr → ライフライン支援ロー  
・中山Dr → 病院避難、その他  
・県事務局と物資ロジ・医療ニーズの連携  
治部拠点本部 現状分析 活動方針 Web定期的企画
- 情報 → 山田Dr 医療ニーズ班  
・被害全体状況及び津波・停電・断水・アクセス状況  
・EMIS入力もく通 宮田 豊田 Dr 東恩納
- DMAT指揮 → 平井Dr DMAT指揮  
・各エリアの必要数 算定と把握 TTT 吾倉  
・追加要請の判断・現状チェックの要
- 病院避難 → 中山Dr 西代Dr 三ツミ オカノ  
・IS値 0.6以下・震度6  
・EMIS上で倒壊の恐れ ) リスト  
・避難先 津波 断水 断電 断電  
・被災先 津波 断水 断電 断電
- ライフライン → 小川Dr 木村  
・給水確保リスト・電線復旧リスト 治部拠点本部が5のリスト入ると照合一応請
- 搬送フロー図 → 平井Dr 中山Dr  
・(他機関との連携確保 方法の確立

DMAT調整本部（熊本県庁）

## <活動方針> 0:30

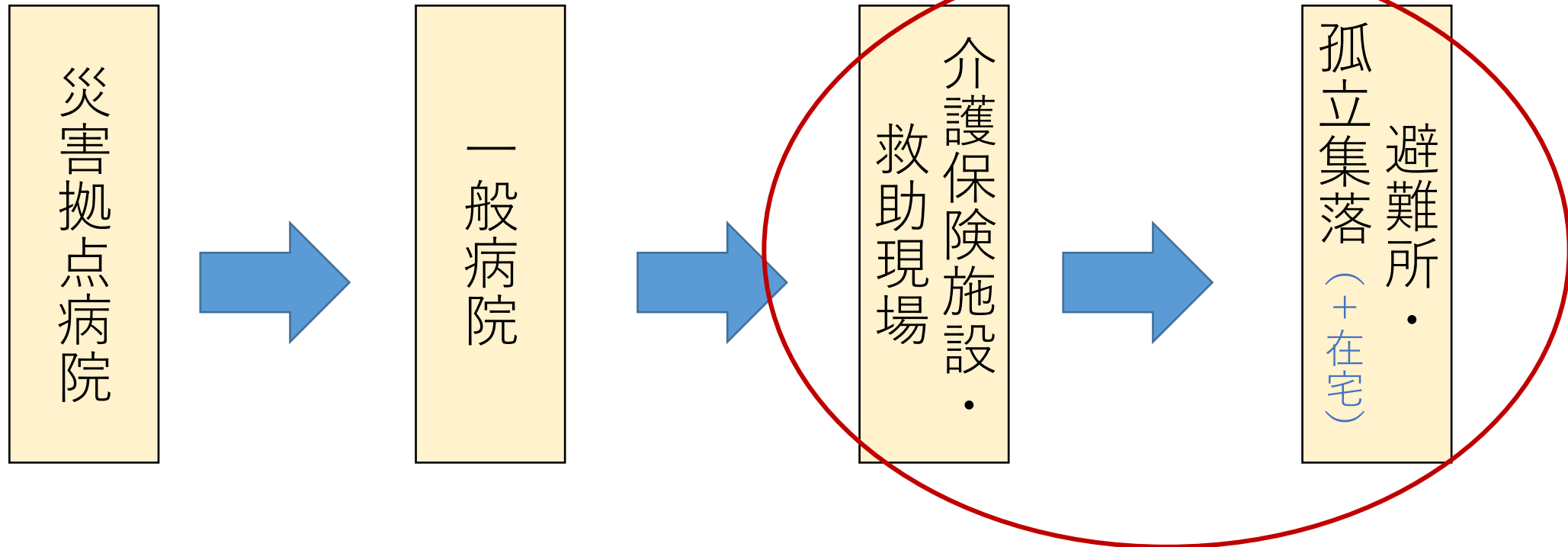
- CSCA確立  
・関係機関 連絡  
・指揮所設置  
・天草医療圏の対応
- 被害状況  
・EMIS更新
- 病院避難  
・リスクある病院リスト更新  
・高田病院対応(緊急回避スミ)
- 天草医療圏  
・投入計画
- 搬送調整  
・フロー策定 手段確保

DMAT活動拠点本部（八代保健所）

# 課題：迅速な施設・避難所等のアセスメント、対応

## DMAT活動の優先順位

行政・DHEAT



- ✓行政・DHEATが施設、避難所や在宅避難者の情報を収集、整理を開始する、DMATが病院から情報収集を開始する、そして両者で共有する。
- ✓このように情報収集の役割分担をすることで、必要な情報を網羅的に迅速に収集できて、速やかな対応に繋げることが出来るのでは。